

胃透視検査（バリウム検査）を受けられる方へ

■ 飲食、嗜好品の制限

※胃透視検査は胃の中に食べ物があると精度の高い検査ができません。以下の制限をお守りください。

検査前日

- ・検査前日は夜9時までに食事を終えて、それ以降は当日検査が終了するまで食事は禁止です。
- ・水分（水のみ）はその後も摂取可能です。

検査当日

- ・起床後から検査2時間前まで、水と白湯のみ200ml程度飲水可能です。
- ・あめ、キャラメル等も食べないでください。
- ・タバコは吸わないでください。（唾液が多くなり正しい診断ができない場合があります）

■ 検査当日のお薬について

- ・糖尿病の方：受診前は薬の服用やインスリン注射はしないでください。（低血糖になる恐れがあります）
- ・心臓病・高血圧の方：薬はご来院の2時間前までに必ず200ml以内の水で服用してください。
- ・それ以外の薬は検査後にお飲みください。

※薬の服用等で不安のある方は、かかりつけ医にご相談ください。

■ 以下に当てはまる方は胃透視検査（バリウム検査）を受けられません。

★印の方は上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）であれば受診可能です。

- ・妊娠中及び妊娠の可能性がある方
- ・腎臓病（人工透析）や心疾患などで水分制限を受けている方
- ★授乳中の方（かかりつけ医に相談のうえ、検査を受けることは可能です）
- ★体内にペースメーカー及び除細動器を装着している方
- ★脳圧亢進症によりシャント中の方
- ★グルコースモニタシステム（装着型血糖測定器）を装着中の方（別日の受診をおすすめします）
- ★バリウム製剤に対し、過敏症（蕁麻疹、息苦しさ、手足が冷たくなる等）の既往歴のある方
- ★腸閉塞や腸捻転の既往がある方
- ★過去1か月以内に炎症性腸疾患や消化管出血があった方
- ★過去2か月以内に大腸ポリープを切除された方
- ★過去1年以内に開腹手術をされた方（かかりつけ医に相談のうえ、検査を受けることは可能です）
- ★過去1年以内に心疾患や脳血管障害を発症したことのある方
- ★過去1年以内にてんかんの発作があった方
- ★普段から1週間以上便が出ないことがある方、検査前72時間以上便が出ていない方
- ★バリウムのコップを自分で持ってお飲みになれない方
- ★自力で立位を保持することや、撮影台の手すりを自力でつかむことが困難な方
- ★技師の指示に従ってスムーズに動くことが困難な方
- ★体重135kg以上の方（装置の重量制限によって検査を受けられません）